

科目名称	小児看護学Ⅱ（健康障害を持つ小児への支援技術）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年後期	2	60
担当教員	伊藤 卓夫 ・ 土居泰子	授業に関わる 実務経験	☒ 有 （ 医師・看護師 ） ☐ 無	

【1】 授業概要

小児に特徴的な疾患を理解し、小児の健康問題の経過や症状に対する看護について学ぶ。また、病気や障害が子どもと親、家族に与える影響を理解し、入院生活だけではなく外来、在宅を包括した看護を学ぶ。そして、健康問題のある小児と家族の事例から、情報収集・アセスメント・看護問題の明確化のプロセスを理解する。

【2】 学習目標

1. 小児が示す主な症状に対する小児と家族への援助方法を記述できる。
2. 疾病の各期における小児と家族への看護を記述できる。
3. 小児の状況（環境）に特徴づけられる看護を述べることができる。
4. 健康問題のある小児と家族の特徴を理解し、援助の方法を記述できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児に特徴的な疾患①	講義
2	小児に特徴的な疾患②	講義
3	小児に特徴的な疾患③	講義
4	小児に特徴的な疾患④	講義
5	小児に特徴的な疾患⑤	講義
6	小児に特徴的な疾患⑥	講義
7	小児に特徴的な疾患⑦	講義
8	小児に特徴的な疾患⑧	講義
9	小児に特徴的な疾患⑨:神経疾患	講義
10	病気・障害を持つ小児と家族の看護	講義
11	小児が示す主な症状に対する看護	講義
12	救命救急処置が必要な小児と家族の看護①	講義
13	救命救急処置が必要な小児と家族の看護②	技術演習
14	周手術期における小児と家族の看護①	講義
15	周手術期における小児と家族の看護②	講義
16	急性期にある小児と家族の看護①	講義
17	急性期にある小児と家族の看護②	講義
18	感染症の小児と家族の看護①	講義
19	感染症の小児と家族の看護②	講義
20	心身障害のある小児と家族の看護①	講義
21	心身障害のある小児と家族の看護②	演習
22	心身障害のある小児と家族の看護③	演習
23	心身障害のある小児と家族の看護④	演習
24	ハイリスク新生児と家族の看護①	講義
25	ハイリスク新生児と家族の看護②	講義
26	在宅における小児と家族の看護①	講義
27	在宅における小児と家族の看護②	講義
28	現代の小児保健医療の課題（臓器移植）①	講義
29	現代の小児保健医療の課題（臓器移植）②	講義
30	試験・まとめ	

【5】評価方法

1. 筆記試験 80%、演習・課題への取り組み・提出物 20%によって評価する。

【6】教科書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学 1 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第 14 版)医学書院 2022 (電子版)

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護学 2 小児臨床看護各論(第 14 版)医学書院 2022 (電子版)

【7】参考書

高木永子監修:看護過程に沿った対症看護(第4版)学研2012

【8】受講生へのメッセージ

実際に子どもと関わっている医師・看護師の講義です。臨床の方々の話を聞くことで、子どもに興味のある方はより深く、興味がない方も、きっと子どもに興味をもつことができます。一緒に子どもの疾患や看護を理解してみませんか。